

## 無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集 (①無06-15-5/5)

### 目 的

無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

### 成 果

1. 韓国との交流事業では、平成23年度に韓国国立無形遺産院（当時の韓国側の組織名は韓国国立文化財研究所）と調印した「無形文化遺産の保護に関する日韓研究交流合意書」に基づき、韓国国立無形遺産院から、調査研究記録課の方劬蓮学芸研究士を2015（平成27）年6月1日～22日の間、無形文化遺産部に迎え、研究交流及び共同調査を実施した。また、今年度で第2期が終了するのを受け、来年度の成果報告会及び来年度以降の事業の継続について協議を行った。
2. 無形文化遺産分野の国際的情報収集では、以下の国際会議等に出席し、情報収集を実施した。  
2015（平成27）年11月29日～12月5日「ユネスコ無形文化遺産保護条約第10回政府間委員会」ナミビア ウイントフック

### 論文

- ・二神葉子「無形文化遺産の保護に関する第10回政府間委員会における議論の概要と今後の課題」『無形文化遺産研究報告』10 pp. 1-17 16.3

### 研究組織

○飯島満、高桑いづみ、久保田裕道、石村智、菊池理予、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、二神葉子（企画情報部）、松山直子（客員研究員）



広島県北広島町の壬生の花田植  
(韓国国立無形文化遺産院との共同調査)



ユネスコ無形遺産保護条約第10回政  
府間委員会の様子 (ナミビア)